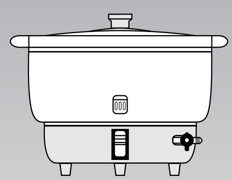
パロマ
ガス炊飯器

型式名
PR-6DSS-8
PR-8DSS-8



PR-6DSS(S)
PR-8DSS(S)

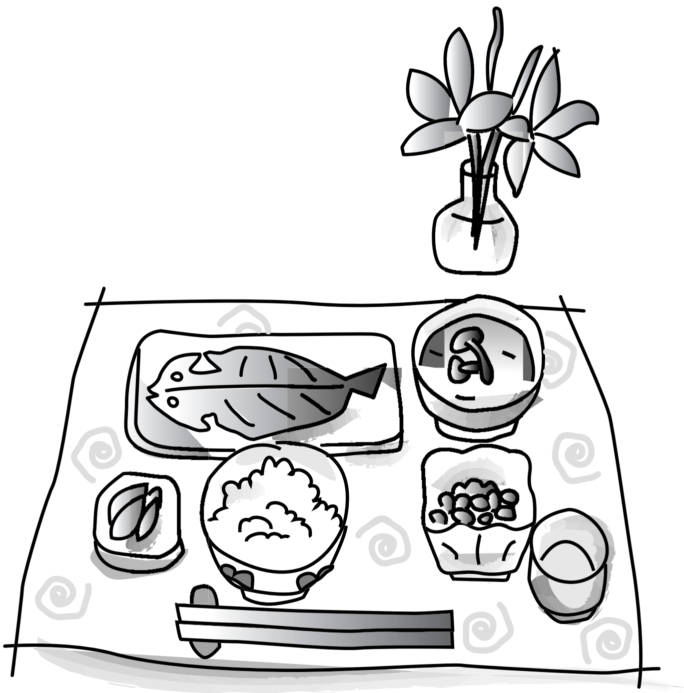
取扱説明書

このたびはガス炊飯器をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。 保証書付

●正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ず最初から順番にお読みいただき、よく理解してくださるようお願いいたします。また、この「取扱説明書」をいつでもすぐに取り出せるところに大切に保管しておいてください。

●この「取扱説明書」に書かれている内容以外ではご使用にならないでください。

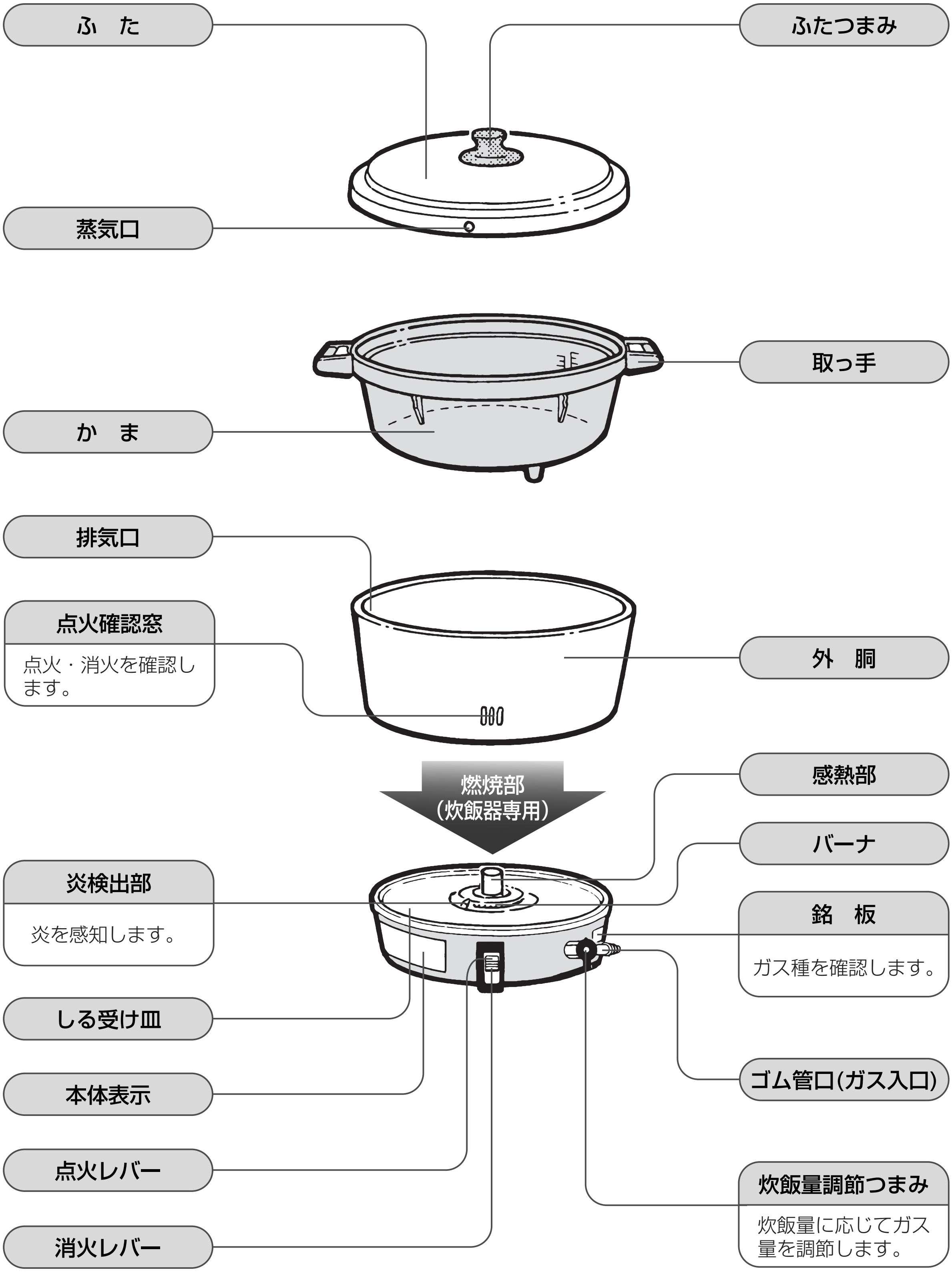
●「取扱説明書」を紛失された場合は、お近くのパロマまでお問い合せください。



Paloma

もくじ

各部のなまえ



ふ　た
ふたつまみ
蒸気口
取っ手
か　ま
排気口
点火確認窓
点火・消火を確認します。
外　胴
燃焼部
（炊飯器専用）
感熱部
バーナ
炎検出部
炎を感知します。
銘　板
ガス種を確認します。
しる受け皿
ゴム管口(ガス入口)
本体表示
点火レバー
炊飯量調節つまみ
炊飯量に応じてガス量を調節します。
消火レバー

安全に正しくお使いいただくために

必ずお守りください

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示について次のような意味があります。

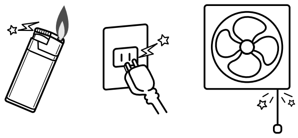


一般的な禁止　火気禁止　接触禁止　分解禁止　必ず行う

⚠危険

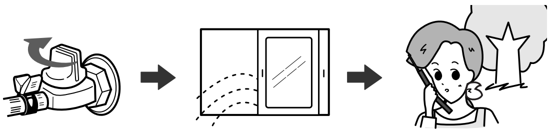
■ガス漏れ時の処置

ガス漏れに気付いたときはガス事業者（供給業者）の処置が終わるまでの間、絶対に火を付けたり電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺で電話を使用しないでください。炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。





①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉じる。
　また、メーターのガス栓も閉じる。
②窓や戸を開け、ガスを外へ出す。
③お近くのガス事業者まで連絡する。



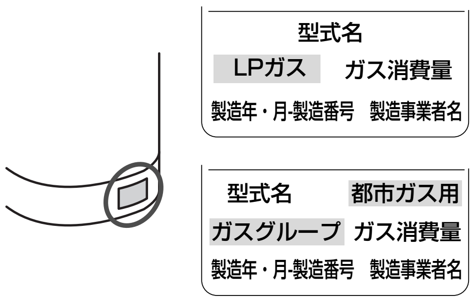


⚠警告

■機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）の適合を確認する

表示のガス種が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。特に転居した場合は必ずガス種が一致しているか確認してください。

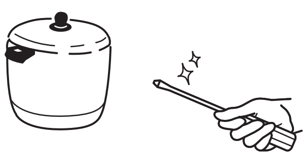
＊おわかりにならない場合または合っていない場合はお買い上げの販売店かお近くのガス事業者までご連絡ください。





■改造・分解禁止

絶対に改造・分解は行わないでください。改造・分解は、一酸化炭素中毒やガス漏れなどのおそれがあります。また、火災の原因になります。





必ずお守りください

⚠警告

■火をつけたまま機器から絶対に離れない、就寝、外出をしない

火災の原因になります。

■使用中、使用直後は機器を移動させない

転倒すると火災、やけどの原因になります。

■機器の上や周囲には可燃物や引火物を置かない、近づけない

ペットボトル、調理油などは火災の原因になります。また、スプレー缶やカセットコンロ用ボンベなどは、熱でスプレー缶内の圧力が上がりスプレー缶が爆発するおそれがあります。

●機器の下に新聞紙やビニールシートなどの可燃物を敷かないでください。また、電源コードを通さないでください。

■炊飯中、蒸気口・排気口の上にタオル、ふきんなどをのせない

不完全燃焼や火災の原因になります。

■機器の周囲では引火のおそれのあるものを使用しない

スプレー、ガソリン、ベンジンなどは、引火して火災のおそれがあります。



■使用後は必ず消火を確認する

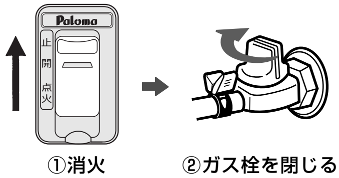
炊飯後は消火を確かめ、外出・就寝時にはガス栓を閉じてください。

■異常時・緊急時の処置

①点火しない場合または、使用中に異常な燃焼、臭気、異常音を感じた場合、使用途中で消火した場合、地震、火災など緊急の場合はただちに使用を中止し、ガス栓を閉じる。

②「故障かな？と思ったら」に従い処置する。

③上記の処置をしても直らない場合は使用を中止しお買い上げの販売店かお近くの当社まで連絡する。



■ガス接続

ガス用ゴム管(ソフトコード)を使用する場合は、検査合格マークまたはJISマークの入っているものを使用し、赤線まで差し込んでゴム管止めでしっかり止める

①継ぎ足しや二又分岐は絶対にしない

②機器の上や下を通さない

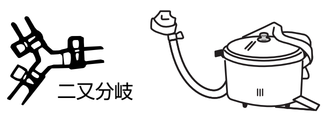
③他の熱源などの高温部に触れない

④折れ、ねじれ、引っ張りなどのないようにする

⑤接続口に汚れやごみがないようにする

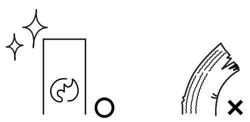
●正しく接続されないとガス漏れの原因になります。

●ガス用ゴム管以外は耐久性に欠けガス漏れの原因になります。



■ゴム管はときどき点検して取り替える

古くなるとひび割れや差し込み口がゆるくなってガス漏れの原因になります。



■当社の純正部品を使用する

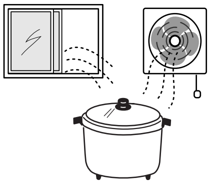
補修用性能部品および補助具は当社の純正部品以外は使わないでください。それ以外のものを使用した場合の機器の故障、事故については、当社では責任を負いかねます。

⚠注意

■ガス事故防止（換気に注意）

閉めきった部屋で長時間（繰り返し）使用しないで、使用中は窓を開けるか換気扇を回してください。一酸化炭素中毒の原因になります。また、ストーブなど他の燃焼機器を長時間使用している部屋でお使いの場合は、点火しにくかったり、正常に燃焼しない場合があります。

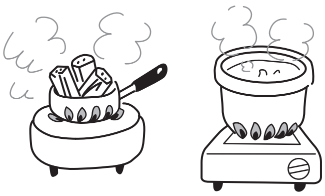
＊自然排気式給湯器および風呂釜を同時に使用する場合は、換気扇を回さず窓などを開けて換気してください。換気扇を回すと自然排気式給湯器および風呂釜の排気ガスが屋内に流れ込むおそれがあります。



■炊飯以外の用途には使わない

過熱・異常燃焼による焼損や火災の原因になります。

＊この機器は炊飯専用です。炭、練炭おこしや焼物、汁もの調理など、炊飯以外の用途には使用しないでください。



■使用中や使用直後は操作部以外は触らない

機器本体とその周辺が熱くなるため、やけどをするおそれがあります。

＊特に小さなお子さまがいる家庭では注意してください。



■点火操作をするときは点火確認窓に目を近づけない

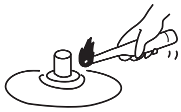
炎で顔にやけどをするおそれがあります。

■炊飯中や炊飯直後に蒸気口・排気口に手や顔を近づけない

蒸気や排気でやけどをするおそれがあります。

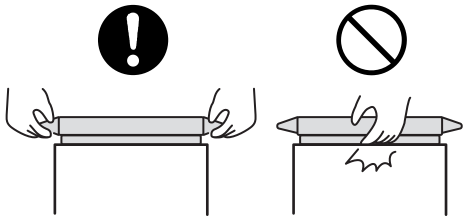
■この機器の点火装置以外の方法では点火しない

やけどをするおそれがあります。



■かまをセットするときは、取っ手を持つ

かまと外胴に手をはさまれ、ケガをすることがあります。



■感熱部に強いショックやキズを与えない

感熱部が故障する原因となります。



■炊飯中はふたの開閉をしない

途中消火したり、ご飯がうまく炊けない場合があります。

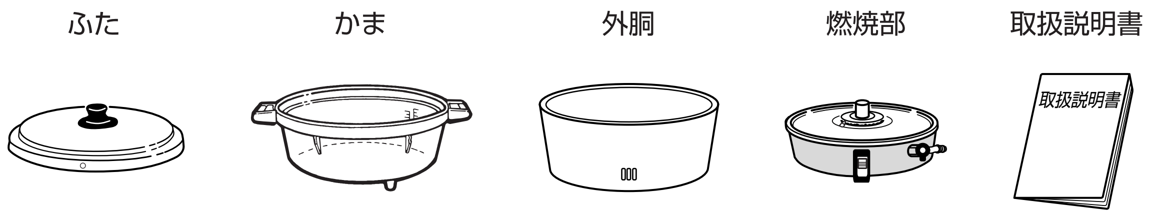
■幼児や小さな子供に触らせない

思わぬ事故の原因になります。

設置について

同梱部品の確認

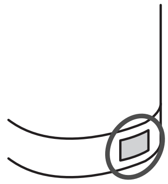
①箱から機器を取り出し、あて紙、梱包部材やテープを取り除く
②同梱部品の確認をする



ガス種の確認

①ご家庭のガスの種類と機器の銘板に表示されている
　ガスの種類が合っているか確かめる

②合っていない場合は設置をやめて、お買い上げの販
　売店かガス事業所まで連絡する



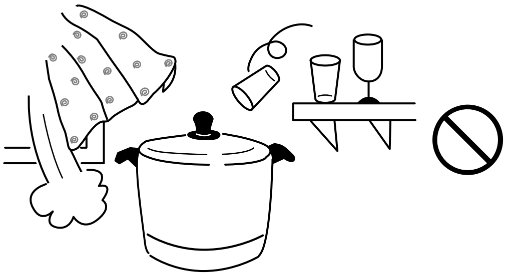
設　置　場　所

一酸化炭素中毒や火災、やけどの原因となりますので正しく設置してください。

⚠注意

次の条件を満たしている場所をお選びください。

●換気が良い
●落下物の危険性がない
●風が吹き込まない
●水平で安定している
●周囲に可燃物がない
●水や熱がかからない
●上に照明器具などの樹脂製品がない
●上に湯沸器がない
●幼児の手が届かない



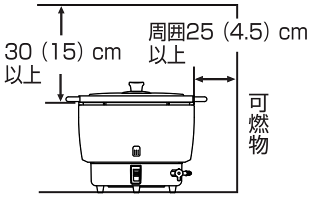
防火措置

各地の火災予防条例にしたがって防火措置を行ってください。

⚠警告

ステンレス板や薄いタイルなどの不燃材を可燃性の壁に直接張り付けた場合でも、下記①・②の防火措置を必ず行う

→伝熱により長年の間に可燃物が炭化し、火災になることがあります。
＊設置後に、機器の周囲の改装をする場合も設置基準をお守りください。

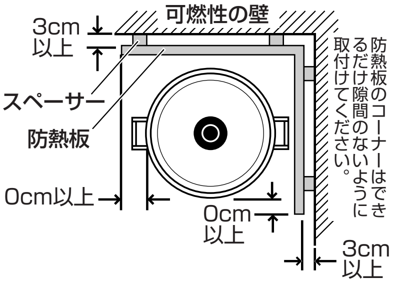


①可燃物（壁、棚など）から十分離して設置する

周囲の可燃物より25cm以上、上方は30cm以上離します。

②①の条件を満たせない場合は防熱板を取り付ける

金属以外の厚さ3mm以上の不燃材を図のように取り付けてください。
不燃材を取り付けた場合は、（　）内の寸法に従ってください。

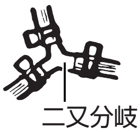


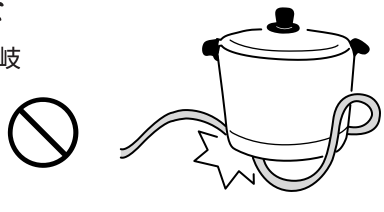
ゴム管の接続

⚠注意

- **継ぎ足しや二又分岐は絶対にしない**
- **機器の上や下を通さない**
- **排気口の付近を通さない**
- **外胴に触れない**
- **他の熱源などの高温部に触れない**
- **折れ、ねじれ、引っ張りなどのないようにする**
- **接続口に汚れやごみがないようにする**

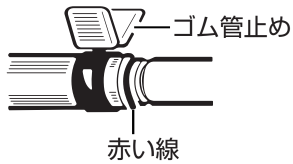
→正しく接続されないとガス漏れや火災の原因になります。





★用意するもの

- ゴム管止め2個
- PR-6DSS(S)をお求めの場合はφ9.5mmガス用ゴム管（新品）1本、
  PR-8DSS(S)をお求めの場合はφ13mmガス用ゴム管（新品）1本
  （都市ガス用をお選びください。）



①ゴム管を機器に触れないように適切な長さに切る
②両方のゴム管口の赤い線までゴム管を差し込みゴム管止めで止める
③ガス栓を開け接続部からガスの臭いがしないことを確かめ、ガス栓を閉める

使いかた

お米の準備

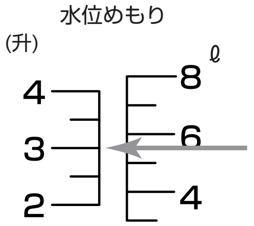
洗米

お手持ちの計量カップでお米を正しく計り、手早くとぎあげ、3〜4回水を取り替えてすすぐ

一度水につけたお米は砕けやすいため、長く洗米されると砕け米が多くなります。砕け米・粉米などが混じって炊飯されると風味を損ね、早切れ、炊きむら、着色の原因となります。

●洗米機をご使用の場合は、洗米機の取扱説明書に準じて洗米を行ってください。

水加減



（PR-8DSS(S)の場合）

【例】
3升炊く場合は、かまにお米を入れた後、3の目盛のところまで水を入れます。
かまは水平にして両側の目盛で合わせてください。

かまの内側の水位目盛を基準に、お米の量と同じ目盛のところまで水を入れる

●かまの内側の水位目盛りは右側が「ℓ（リットル）」、左側が「升」を示します。
●かまの目盛は目安です。新米・古米または固め、やわらかめなどの好みによって水を加減してください。
混ぜご飯については、具の内容や量、また炊きかたによって炊けないこともありますので、ご注意ください。

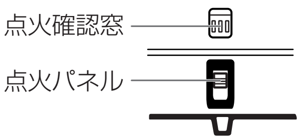
おねがい

表示以外の炊飯量以上および以下での炊飯はしないでください。ふきこぼれたり、炊きむらの原因となります。

●水加減後、30分以上水につけておくとおいしく炊けます。
時間が短いと、ご飯に芯が残ることがあります。
＊冬期など水温が低いとき、または古米が多く含まれる場合は、1時間以上つけておいてください。

各部のセット

外　胴



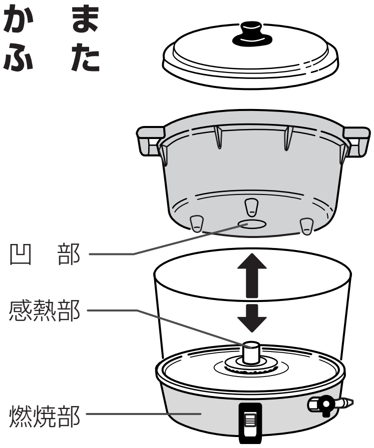
外胴を燃焼部にのせる

●外胴は点火確認窓が、正面の点火パネルの上になるようにのせます。

おねがい

外胴が正しくのっていないと、点火操作ができなかったり、早切れしたり、こげる原因となります。

か　ま
ふ　た



かま底の凹部と燃焼部の感熱部が合うように、かまを正しくのせる

⚠警告

かまを燃焼部にのせるとき、燃焼部にしゃもじ等の異物がないことを確認する

→異常燃焼や火災の原因になります。

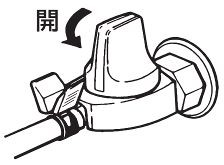
⚠注意

かまを燃焼部にのせるとき、凹部や感熱部に水・米粒などがついていないことを確認する

→正常に炊飯できないことがあります。

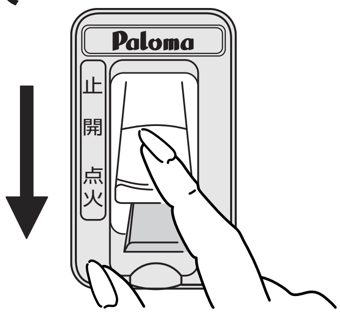
炊　飯

ガス栓を開く



点火レバーが「止」の位置にあることを確認した後、ガス栓を全開にする

点　火



①炊飯量調節つまみを「満」にセットする

②点火レバーを下へ「カチッ」と音がするまでゆっくりいっぱいに押し下げる
- ●点火してから数秒間(安全装置が働くまで)押したまま「点火」の位置で保持し、ゆっくり手を離します。

③手を離しても点火していることを点火確認窓から確認する
- ●使用中もときどき燃焼を確認してください。

炊飯途中で消火したいときは



消火レバーを上へ「カチャン」と音がするまでもどしてください。

⚠注意

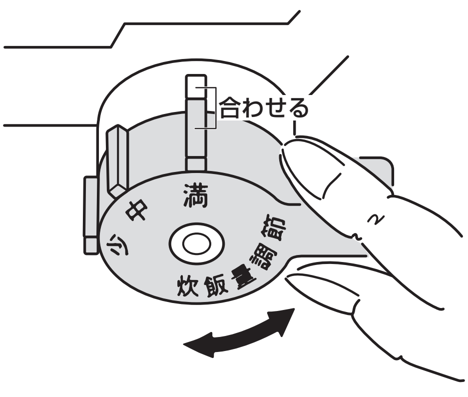
万一点火しないときは、消火レバーを上へ「カチャン」と音がするまでもどした後、一旦かまをはずしてガスを逃がす。その後かまをセットし直し、あらためて点火操作を行う

→ガスを逃がさないと、爆発点火ややけどの原因になります。

おねがい

- ●初めて使うときやしばらく使わなかったときなど点火しにくい場合があります。ゴム管内に空気が入っているためです。繰り返し点火操作してください。
- ●手を離すと消火する場合は押し時間の不足です。消火レバーをもどして再度点火操作し、押し時間を長くしてください。

炊飯量調節（火力調節）



炊飯量に応じて、炊飯量調節つまみを「満」、「中」、「少」のいずれかにセットする

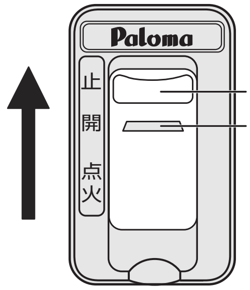
●下表を目安にしてください。

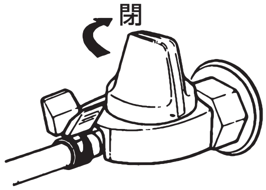
炊飯量調節つまみ	炊　飯　量	
	PR-6DSS(S)	PR-8DSS(S)
満	6L(5.0kg)	8L(6.7kg)
中	4L(3.3kg)	5L(4.2kg)
少	2L(1.7kg)	3L(2.5kg)

おねがい

- ●室温・水温・ガス種や米の品質などによっても多少異なります。
- ●炊飯量調節つまみが の位置にあるときは、ガス量「少」を表し、ガスが流れている状態です。「閉」ではありません。

炊きあがり
むらし





①ご飯が炊きあがると、自動的に点火レバーが「止」の位置にもどり、消火する

②消火を確認後、ガス栓を閉める

③炊きあがり後は必ずそのまま15分程むらす

- むらし終わるまではふたを開けないでください。
  炊きあがり後すぐにふたを開けると、ご飯に芯が残ります。
- むらした後、ご飯をほぐしながらよくかき混ぜてください。
  余分な水分が逃げ、ご飯がおいしくなります。

炊きあがりのご飯がかま底にうっすらとキツネ色程度の（おこげのような）色がつくことがあります。これはメイラード反応とよばれ、ご飯がこおばしくより一層おいしくいただけます。

⚠注意

炊飯直後、かまを移動させる場合は、ビニールクロス、畳等の上に直接置かない

→かまの底部が高温になっているため、火災の原因になります。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、次のことをお調べください。下記の現象に当てはまらないとき、また処置をしてもなお異常のあるときは、お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。

現　　象	原　　因	処置方法	参照ページ
点火しない 点火しにくい 使用中に消火する	ガス栓の開き不十分	ガス栓を全開にする	8
	ゴム管の折れ曲がり、つぶれ	ゴム管の折れ曲がりを直す	6
	ゴム管の接続不十分	ゴム管を確実に接続する	6
	バーナ炎口の水滴や汚れによる目づまり	バーナ炎口のお手入れをする	12
	ゴム管内に空気が残っている	点火操作をくり返す	8
	点火操作が不適切	点火レバーを押す時間を長くする	8
	炎検出部が水ぬれしたり汚れている	お手入れをする	12
	かまのセット不良	正しくセットする	7
	LPガス使用の場合、LPガスがなくなりかけている	ボンベを交換する	–
黄色の炎で燃える 炎が安定しない 異常な音をたてて燃える	バーナ炎口の水滴や汚れによる目づまり	バーナ炎口のお手入れをする	12
ガスのいやな臭いがする	ゴム管の接続不十分	ゴム管を確実に接続する	6
	ゴム管のひび割れ、穴あき	新しいゴム管と交換する	6
ごはんがうまく炊けない 自動消火しない 早切れする ふきこぼれが多い ごはんがこげる 炊きむらがある ごはんがふやける	機器が傾いている	正しく設置する	5
	かまのセット不良	正しくセットする	7
	かま底の凹部、感熱部が汚れている	お手入れをする	12
	ふたが確実に閉まっていない	確実に閉める	8
	水加減、火力調節が不適切	「使いかた」に従う	7/8
	お米の量が不適切	計量カップで正しく計る	7
	むらしをしていない	炊きあがり後15分ほどむらす	9
	水に漬けておく時間が短い	水に漬けておく時間を十分とる	7
	洗米のしすぎで砕け米が多い	手早く洗米する	7
	砕け米が多い	砕け米は避ける	7
	ライスネットの目づまり	お手入れをする	12
	洗米が不十分で水が白くにごっている	3～4回水を取り替えてすすぐ	7

■こんな場合は故障ではありません。

故障ではない場合	理　由
点火・消火の時に「ジー」「ボッ」という音がする	点火音・消火音で異常ではありません。
使用中「シャー」という音がする	ガスの通過音で、異常ではありません。

■立消え安全装置が作動したとき

立消え安全装置とは風やふきこぼれなどで炎が消えたとき、自動的にガスを止める装置です。

●消火に気付いたとき・・すぐに消火レバーを上へ「カチャン」と音がするまでもどしてください。
炎が消えてからガスが止まるまでしばらく時間がかかります。

●再点火するとき・・・・周囲にガスがなくなるのを待ってから点火操作してください。

点検とお手入れ

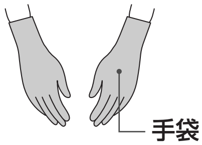
⚠注意

■機器を水につけたり、水をかけたりしない

不完全燃焼・故障の恐れがあります。

■点検・お手入れの際は必ず手袋をして行う

手袋をしないでお手入れすると機器の突起物などでけがをすることがあります。



おねがい

- 点検とお手入れはガス栓を閉め、機器が冷えてから手袋をして行ってください。（機器が冷えるまで時間がかかります。）
- 機器を安全・快適にお使いいただくために、日常の点検とお手入れは必ず行ってください。
- 機器の故障や異常を見つけたときは、お買い上げの販売店かお近くの当社までご連絡ください。
- 「故障かな？と思ったら」を参照していただき、処置に困る場合はお買い上げの販売店かお近くの当社にご相談ください。お客様自身での修理は絶対にしないでください。
- 安全にお使いいただくために定期的に点検を受けられることをおすすめします。（有償）

点検のポイント

＊点検は常時行ってください。

●機器のまわりに可燃物等はありませんか？

機器の回りに可燃物や障害物がないようにしてください。

●各部品は正しくセットされていますか？

外胴、かま、ふたが正しくセットされているか確認してください。

●ゴム管は正しく接続されていますか？古くなっていませんか？

赤い線までしっかり差し込み、ゴム管止めで止めてください。古くなるとひび割れしたり、差し込み口がゆるくなります。早めに取り替えてください。

●ガス臭くありませんか？

ガス栓を開け、ゴム管口の接続部からガスの臭いがしないことを確かめてください。

●汚れていませんか？

ご使用のつどお手入れしてください。

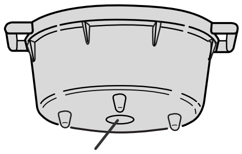
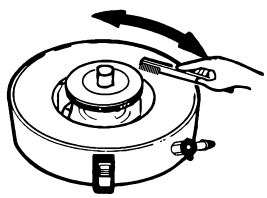
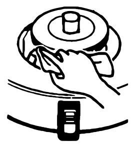
お手入れのしかた

- お手入れの際は手袋をするなどして、ケガのないように気をつけてください。
- 機器や取り外した部品は落とさないように気を付けてください。ケガや故障の原因になります。
- お手入れの後は各部品が正しくセットされているか確認をしてください。

お手入れには台所用中性洗剤をお使いください。

おねがい

- シンナー、ベンジンや酸性·アルカリ性洗剤は使わないでください。機器損傷の原因になります。また、印刷・塗装面にはみがき粉、たわしなどの固いものは使わないでください。表面を傷付けます。
- 汚れはそのつどお手入れしてください。そのままにしておくと、汚れが落ちにくくなり早くいたみます。

かま 凹部（かま底）	**使用後は米粒、おねば等を洗い落し、つねに水切りよく保存しておく** ●特に混ぜご飯、炊き込みご飯等の後のお手入れや水切りは十分行ってください。 ●凹部の汚れはふき取ってください。 ●かまを洗うときはやわらかいスポンジをお使い下さい。 （スチールウール、たわし、みがき粉など固いものは使わないでください。かまの表面が傷つき、ふきんなどで拭いた場合に色がつくこともあります。）  **おねがい** キズを付けないでください。
ライスネット	**ライスネット使用の場合、炊飯の度に米粒、おねば等を洗い落す** ●目づまりしていると、早切れ、炊きむらの原因になります。
ふた 外胴 しる受け皿	**水気をしぼった布に、台所用中性洗剤を含ませてふき取る** **おねがい** 燃焼部内を水でぬらさないでください。
感熱部	**感熱部の頭部が汚れたときは、感熱部に片手を添えて水気を固くしぼった布で汚れをふき取る**  **おねがい** キズを付けないでください。
バーナ炎口	**おねがい** 炎検出部の取付位置を動かしたり、キズを付けないでください。  **炎がふぞろいになったときや汚れのひどいときは、バーナをブラシで掃除する** ●バーナ炎口がつまると、燃焼不良となります。 ●掃除した後は、正常に燃焼することを確かめてください。
炎検出部	 **汚れや水分が付いたときは、やわらかい布でふき取る** ●汚れや水分が付いていると点火しにくくなります。

保管とアフターサービス

保管（長期間使わないとき）

汚れを取り、お買い求めになったときの箱に入れて、湿気やほこりの少ないところで保管してください。特にゴム管口にはほこりが入らないように注意してください。

アフターサービスについて

■点検・修理を依頼されるとき

10ページ「故障かな?と思ったら」を見てもう一度確認し、それでも直らないときは、お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。**アフターサービスをお申しつけのときは右記のことをお知らせください。**

なお、修理のご依頼は、【電話】0120-193-860 でも24時間受付いたしますので、ご利用ください。

- ●ご住所・ご氏名・電話番号
- ●現象（できるだけ詳しく）
- ●品名・型式名（銘板表示のもの）
- ●ご購入日・ガス種
- ●道順

ご相談窓口	住　所	TEL	FAX
北海道サービスコールセンター	〒001-0033 札幌市北区北33条西7丁目1－1	011-726-2822	011-736-7374
東　北サービスコールセンター	〒983-0041 仙台市宮城野区南目館20－10	022-239-1848	022-238-0838
関　東サービスコールセンター	〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-1-6藤枝ビル6階	03-3986-0860	03-3986-0895
中日本サービスコールセンター	〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町6－23	052-824-5188	052-824-5670
近　畿サービスコールセンター	〒550-0013 大阪市西区新町3-13-20パロマアワザビル2階	06-6534-6751	06-6534-6755
中四国サービスコールセンター	〒732-0804 広島市南区西蟹屋3丁目8－12	082-262-8341	082-263-2400
九　州サービスコールセンター	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2－9－13	092-472-0924	092-471-8400
受付時間	平日　9：00～18：30 土曜日・日曜日・祝日　9：00～17：00（修理受付のみ）		

＊住所・電話番号などは変更することがありますのであらかじめご了承願います。

■補修用性能部品の保有期間について

補修用性能部品は製造打ち切り後6年間保有しています。
長年のご使用でいたんだ場合にはお買い求めください。

■ガスの種類が変わるとき

ご贈答、転居等によりガスの種類が変わるときは、ガス器具の調整が必要になりますので、お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。
この場合、費用は保証期間中でも有料となります。

■製造年月について

製造年月は本体貼付けの銘板でお確かめください。

（例）

製造月
08・02─123456
製造年　製造番号

■その他ご不明の点は

お買い上げの販売店かお近くのパロマまたは「お客様相談室」までご連絡ください。

パロマお客様相談室	〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町6番23号	TEL 052-824-5145

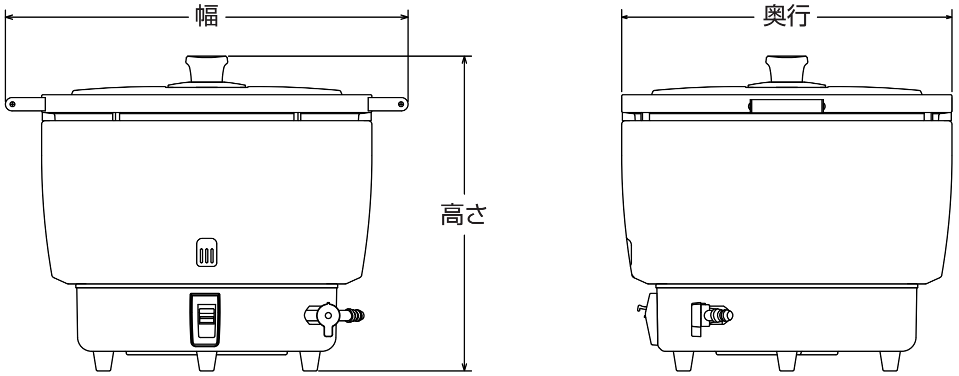
仕　様

品　名		PR-6DSS(S)	PR-8DSS(S)
型式名		PR-6DSS-8	PR-8DSS-8
種　類		ガス炊飯器	
点火方式		圧電点火方式	
外形寸法（高さ×幅×奥行）		414×513×410mm	414×573×470mm
質量（本体）		12kg	12.5kg
炊飯量	最　小	2.0L（1.1升）	3.0L（1.7升）
	最　大	6.0L（3.3升）	8.0L（4.4升）
ガス接続		φ9.5mmガス用ゴム管	φ13mmガス用ゴム管
安全装置		立消安全装置、過熱防止装置	

使用ガス		ガス消費量　kW	
ガスグループ		PR-6DSS(S)	PR-8DSS(S)
都市ガス用	12A	6.93	8.78
	13A	7.44	9.42

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

■寸法図



保 証 書

品　　名	ガス炊飯器

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の正常な設置·使用状態において万一機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

《無料修理規定》

1．取扱説明書、本体貼付けラベル等の注意書きに従った正常な設置·使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店かお近くのパロマが無料修理致します。
2．保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマにご依頼のう[illegible]および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3．ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4．ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お近くのパロマへご相談ください。

5．保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
(イ) 取扱説明書によらないでご使用になったり使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移動（取付工事依頼の必要な機器の場合）、落下等による故障および損傷
(ハ) 公害、火災、水害、地震、落雷、凍結等の天災地変、異常電圧（電気部品搭載の機器の場合）、供給事情（燃料・給水等）などによる故障および損傷
(ニ) 車輌、船舶への搭載等に使用された場合の故障および損傷
(ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(ヘ) 消耗部品の取替えおよび保守等の費用
(ト) 本書の提示がない場合
6．本書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)
7．本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

お客様	お名前	様	保証期間	お買い上げ	年　月　日から１年
	ご住所　〒		販売店名	店名	
				住所	
	お電話			電話番号	

見本

株式会社 パロマ
〒467-8585　名古屋市瑞穂区桃園町6番23号
TEL　052（824）5145

修理記録

年　月　日	修理内容	サービス員㊞

＊この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。なお、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマにお問い合わせください。
＊保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。

20.7. ① P 02 83399